

事業所名 放課後等デイサービス コンパス

公表日: 令和7年3月30日

利用児童数: 25名(配布数22枚)

回収数: 21枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見(原文で掲載)	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	18	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 実際に活動中の見学をしていないのではっきりわかりません。ですが、できているかとは思いますが、子ども達の成長と共にスペースの手狭さは出てくると思う。 もっと広い方が良いと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準以上の広さを確保し、活動内容に応じて安全なレイアウトに変更しております。 利用者様のご成長やプログラム内容に応じて、安全に活動できるように公園・施設等地域の社会資源を活用させていただいております。 現在、事業所の移転計画等がございませんので、ご心配をおかけいたしますが、利用者様の状況やご成長に合わせてプログラム内容、空間と時間の使い方、遊具等を工夫することにより、安全で快適にお過ごしいただけるように努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか。	20	1			<ul style="list-style-type: none"> 運動、医療のことから進路に関することまで幅広く相談できる専門性をスタッフの方がもってらっしゃいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の職員配置基準数以上の職員を配置しております。 職員は、保育士又は児童指導員等の資格を有し、行動援護従業者養成研修(又は強度行動障がい支援者養成研修実践研修)等を修了しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	18	2		1	<ul style="list-style-type: none"> 入口の階段が急で危険を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物内にはエレベーターが設置され、事業所内はバリアフリーとなっております。 ご心配をおかけいたしますが、建物の構造上、改修工事等は困難であるため、通常、正面外階段の利用はできる限り控え、建物内のエレベーター又は途中で踊り場がある外階段を活用しております。 やむを得ず正面外階段を利用する際は、職員が常に下側で補助する等、安全面に配慮して、事故防止に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(※1)が作成されているか。	21				<ul style="list-style-type: none"> その時々に必要な支援を盛り込んだプログラムを作っていました。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様・保護者様のニーズをお伺いしながら、利用者様のストレンクス(強み)や課題状況等をサービス担当者会議において全職員で共有し、作成された個別支援計画書に基づいて支援を行ってまいります。
	5 活動プログラム(※2)が固定化されないよう工夫されているか。	20	1			<ul style="list-style-type: none"> 自立に向けてのプログラムなど様々な工夫を下さっている。 ほぼ毎日利用させていただいていますが、毎回楽しんでます。家でできない経験ができてありがたいです。 様々な活動をさせていただけるので子供も楽しみにしています。 目新しいプログラムを次々と取り入れてくださっているので、何年も全くあきずに通所できています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、利用者様が、発達段階に応じて多様な経験を積むことができ、成人期へ向けて自律・自立や社会参加を見据えたプログラムに取り組んでまいります。 ご利用者様のご成長や習得度合いに合わせて、スキルアップできるプログラムの内容を検討してまいります。 事業所の活動プログラムが固定化しないように、職員がプログラムに活かせる新たな知識・技術を身に付け、様々な分野で情報収集に努めてまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	5	2	8	6	<ul style="list-style-type: none"> 療育に来ているのでご質問の意図がわかりませんでした。 必要だとは思っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省発表の事業所評価表を参考にしておりますが、困惑させてしまい、配慮不足でした。今後、事業所評価表の内容改善を検討してまいります。 地域児童との交流会等の機会はございませんが、地域の社会福祉協議会にご協力いただき、eスポーツ体験会や車いすの介護等の福祉教育を実施しております。又、職員等が、地域の防災・避難訓練に参加し、交流しております。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	21					<ul style="list-style-type: none"> 支援の内容については、随時、利用者負担等については、ご契約時やご契約内容変更時に、わかりやすく丁寧な説明を行うように努めてまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	21					<ul style="list-style-type: none"> 毎回連絡帳や電話などにとても詳しく伝えていただいています。 私が気付かなかった細かな点にも気を配っていただき、発達から将来のことまで何でも相談できる頼もしい支援をしていただいています。子どもも学校で言えないことでも相談できるようです。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	19	2			・将来や進路など、とても親身になっていただいています。	・不十分と考えられることについて、検証し、改善に努めてまいります。 ・保護者様との面談や電話相談において、必要に応じた助言に努めております。 ・利用者様の発達段階に応じて、社会資源や他のサービス等の情報提供を行い、ニーズに応じて、見学・体験等の助言・支援を行ってまいります。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	3	1	13	4	・個人情報の関係で活動なし。 ・必要だとは思っていない。	・個人情報保護の観点及び、利用者様・保護者様のご負担とならないように配慮し、現在、保護者会等は実施しておらず、開催予定もございませんが、ニーズに応じて、検討してまいります。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20				1		・苦情対応窓口を設置し、随時、迅速に対応させていただいております。 ・ご契約時の説明とともに、利用者様や保護者様に継続して苦情対応についての周知・説明を行い、苦情対応の迅速化に努めてまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	20				1	・個人情報などは、とても大切にされています。 ・電話での連絡が30分～1時間になることが時々あり、とてもありがたいのですが、予定があたりしんどい時があります。	・情報伝達において、ご不便をおかけしないように、伝えたい内容を明確に整理し、要点を絞るように努めてまいります。 ・日々、連絡帳、送迎時、電話対応等で、保護者様との意思疎通や情報伝達を行っておりますが、今後も、利用者様・保護者様に応じた手段で、意思疎通や情報伝達に努めてまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	18	3					・定期的にホームページ上で月間の活動プログラム内容や行事予定を発信し、利用者様・保護者様には、別途発信しております。 ・自己評価結果等については、ホームページで公表した上で、ネット環境等に配慮し、印刷物で全利用者様・保護者様に配布しております。
	14 個人情報の取扱いに十分注意しているか。	21					・個人情報などは、とても大切にされています。	・個人情報に関する書類やデータ等、厳重な保管を徹底しております。 ・様々な観点から、引き続き個人情報の保護に努めてまいります。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	18		1	2		・不十分な面もありますので、今後、利用者様、保護者様に、わかりやすく提示し、周知・説明に努めてまいります。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	17	1			3	・プログラムとしても楽しんでいるようです。 ・地域の消防の方とも連携していただき、本格的な訓練を教えてくださいたいです。	・様々な非常災害の発生に備え、定期的(年2回)に消防署にもご協力いただき、避難訓練・初期消火訓練・通報訓練を実施し、事業所独自の防災教室・避難訓練、応急手当教室を定期的に開催しております。 ・非常災害時に落ち着いて行動できるように、今後も、利用者様と共に、繰り返し訓練を実施してまいります。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか。	19	1		1	・もう長くなりますが、義務のように熱心に通っています。 ・嫌がらずに通ってくれる唯一の場所です。	・多様な経験を積んでいただける機会として、個別のニーズや課題に対応してまいります。 ・発達段階に応じてスキルアップを図ることができるプログラム、支援体制等を整え、ご満足いただける支援に努めてまいります。	
	18 事業所の支援に満足しているか。	20	1			・大満足です。親子共々、支えていただいています。	・今後も、利用者様・保護者様の状況やニーズの把握に努め、充実した支援を目指してまいります。	

※1: 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※2: 事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じ手柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。